

## 市政に対する

# 一般質問

6月定例会の一般質問は6月12日・13日・16日の3日間行われ、11人の議員が市政全般に対する諸問題について質問をしました。紙面の都合上、主なものを掲載しました。

なお、詳細については8月下旬発行予定の会議録（市役所市政情報コーナー、図書館及び地域公民館、市議会ホームページなどで閲覧可能）をご覧ください。

## まちづくり 災害に強い まちづくり 出水対策を

梁瀬 里司  
(黎明21)

**問** 台風や大雨時に市内において出水する地区があり、市では、出水対策事業を行っているが、解決には至っていない状況である。

例えば向町や西新町など、今後の排水計画などにおいては、調整池等の設置が解決策になると考えるがどうか。

また、清水町においても、元荒川が越流し、道路が冠水する。以前、出水対策で柵田町から押上町にかけて水路の淵の嵩上げ工事を実施したが、



押上町地内・出水対策

効果があるので清水町地区の元荒川沿いの嵩上げについてはどう考えているのか。

**答** 集中豪雨などの局地的な出水により、河川の流下能力を超過する恐れのある洪水を河川に入れる前に一時的に貯める調整池は、治水対策上、極めて効果的な手段と認識している。今後の対策としては、公共用地、道路用地等を利用

するなど、貯留機能を持たせた出水対策を実施していく。

また、清水町地区の元荒川の水路の淵の嵩上げについては、道路の冠水状況を調査、把握した上、必要な対応を検討していく。

### ●ペット行政

**問** 昨今のペット社会においては様々な事件や事故、マナー違反が起こっている。市では、犬の散歩中のふんの放置の問題や飼い主のモラルやマナー向上のため、平成21年に「行田市愛犬条例」を制定したが、本条例制定後、どのような取り組みを行っているか。

**答** 犬の登録時や狂犬病予防注射等の機会を捉え、飼い主の責任を呼びかけるチラシを配布し、啓発に努めている。特に、ふん害苦情の多い地域では、夕方など犬の散歩時間帯に職員が巡回を行い、マナー啓発グッズの配布や声掛けを行うなど対応を図っている。

**問** 野良猫等の対策として、猫の不妊・去勢手術の一部助成を行っている自治体があるが、本市での実施はどうか。実施は考えていない。

## 政治姿勢

### 市制施行

### 65周年記念事業 市の議会軽視

三宅 盾子  
(まちを住みよくなる会)

**問** 65周年記念市民提案型事業は、昨年12月市報において今年の1月10日必着という短期間に募集が行われ、予算議決前に4事業が選定された。議会の議決権も理解していない。議会軽視ではないか。

**答** 予算を可決後、補助金申請を受け付けた。

**問** 議会の議決前に募集、選定することが異常。議会が予算案を否決したら、この事業の実施は不可能である。市執行部は、予算案を議会に提案すれば、可決すると軽視した結果ではないか。2カ年として予算計画を立てることで回避できたことではないか。

**答** 予算措置があつて、初めて執行できる。補助金の執行は遅くても交付決定時までに、予算措置が必要と認識している。

**問** (学校現場への介入) 選定された事業の中には、「自衛隊

音楽隊のふれあいコンサート」事業(自衛隊の「学校での演奏指導」を含む)や、「よさこいソランソング作成」(学校での運動会での踊り指導含む)があるが、学校の教育編制権は学校にある。市内に音楽家や音楽家集団も存在する。なぜ自衛隊なのか理解できない。

そして、2つの事業とも、学校現場への介入をすべきではないと考えるが。

**答** 学校現場での依頼があれば応じる。

**●効果なく問題多いフツ化物洗口(フツ素うがい)**

**問** 安全性にも問題あるフツ化物洗口が虫歯予防に効果のないことは、全国・県における資料からも明らかである。現在、すでに市内数校では、

フツ素推進派の歯科医師から保護者への説明会が開かれた。学校での「集団実施」は、強制力を伴う。実施すべきではないが、どう考えるか。

**答** 学校の実態に応じ、実施される総合的な歯科保健指導の一つと考えている。

〔その他主な質問〕

○学校への消耗品費の削減問題